
魔女の思い出

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔女の思い出

【コード】

N5681N

【作者名】

源雪風

【あらすじ】

スラム街で男と少女が出会って、意外なことが起こる。

スラム街には少年少女があふれかえっていた。彼らは大人を見ると、包囲して物乞いをする。

そこに怪しい男が現れた。

背が高く、黒いトレンチコートを着て、サングラスと黒い帽子を身につけている。

男は「自分に似た可愛い子がいいな……。」

とつぶやきながら、次々に女の子を見た。

女の子たちは内心気味悪がっていたが、表情に出すとお金がもらえなくなるので明るく騒いだ。

男は一人の女の子の前にしゃがんで、女の子と目線を合わせて言った。

「たくさんお金をあげるから、おじさんと楽しい所に行こう。」

女の子は、生きるためにお金が必要だったので、しぶしぶついていくことにした。

女の子が連れてこられたのは、暗い部屋だった。

女の子は大丈夫だろうか。

「おじさん、怖いよ。」

「今楽しいことが始まるから待っているんだよ。」

暗い部屋に突如光が射した。

すると、闇の中に魔女っ子ロリちゃんの映画が現れた。

そう、ここは映画館だ。

「おじさんはね、どうしてもこの映画が見たかったんだ。でも、子供の映画を大人一人で見るのは恥ずかしいから、娘に見える君を連れてきたのさ。」

男は女の子に耳打ちした。

「なあんだ。そうだったんだ。びっくりして損しちゃった。」

男と女の子は映画を楽しんだ。
後に女の子は、本物の魔法使いになったという。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5681n/>

魔女の思い出

2010年10月9日01時46分発行